

地域の教材を大活用 学べることは 身近にあるぞ!!



西中の生徒たちが、はばたけ秋田っ子で雅楽にチャレンジ!

地域で育む教育。その教材は、学校の近くの田畑だったり、通学路にある神社だったり。自分の住む街を知る楽しさがわいてきます。



音色はおごそかに

神社で体験! 雅楽を演奏

市内の小・中学校で行われている「はばたけ秋田っ子」。各校ごとに「行ってみよう」、やってみよう」「ふるさと秋田を見つめよう」といった活動テーマを設けて、他校との合同学習や、体験学習を実践しています。

秋田西中では「職人(体験者・研究者)に学ぶ」をテーマに、大森山動物園や地元の製材所での体験学習などを実施。選択科目が音楽のクラスは、学校の近くにある日吉神社で、笙や箏といった雅楽の演奏を体験しました。「世界の音楽に触れる」がクラスのテーマ。日本古来の音楽に触れたい、と選んだ場所が地域の神社でした。



子どもを育てる土台になれば

日吉神社の石澤千秋さん

私が子どもの頃は雅楽を学ぶという機会はありませんでした。これからも、地域の財産を教材にして交流を深めたらどうでしょう。子どもたちも地域社会の大切さを自覚するし、地元で育った人たちは、みんな喜んで協力すると思いますよ。



音の出し方に真剣に耳を傾けます

演奏するのはもちろん初めて。でも神主さんのわかりやすい説明でコツをつかんだ生徒は、音が出せるようになりました。普段はお参りでしか来ることのない神社で雅楽を学んで、この地域ならではの貴重な体験ができました。